

千葉県情報ふさ房総

千葉聴覚障害者センター

発行責任者：植野圭哉

社会福祉法人千葉県聴覚障害者協会

〒260-0022 千葉県千葉市中央区神明町 204-12 TEL:043-308-6372 FAX:043-308-5562

メールアドレス: chibadeaf@deaf.or.jp ウェブサイト: <http://www.chibadeaf.or.jp/>

災害時、緊急時、
通訳はどこから？

平成30年9月 **33号**

圏域を超えての連携

市町村の県センターとの契約状況
(手話通訳派遣事業)

平成30年4月現在

市町村の連携、広域の契約の現状

近年大規模災害が頻発していますが、災害時緊急時における手話通訳については、行政エリアを超えた県と市町村の広域的派遣体制が肝要となります。

意思疎通支援者派遣事業は、市町村事業の位置づけであり、派遣の可否が地域の判断にゆだねられることから、当該市を超えての派遣に対応できず、災害時・緊急時に深刻な二次的被害が発生する要因ともなっています。

広域連携し、有事に即応できる体制を構築するために、当センターでは県下54市町村との意思疎通支援に関する派遣契約の締結を進めています。

平成30年4月時点では、47市町村との契約締結をし、残り7市のうち数市は検討段階に入り動き始めています。

災害時は無論のこと、広域連携の必要性については次ページをご覧ください。



- : 県センターと契約(もしくは協定)している市町村
- : 県センターと契約を予定している市: 八千代市
- : 今後に向けて検討中の市: 浦安市・習志野市・野田市
- : 契約していない市: 松戸市・柏市・流山市

P2 へ続く

P1 より続く

<地元を離れた遠方地域での通訳ニーズ>

聴覚障害者が帰省先や、旅行先、出張先などの遠方地域において手話通訳者が必要となった場合、自分の在住地の派遣事業では対応できないケースがほとんどです。その場合当センターが県内の市町村、あるいは県外との派遣調整を行い、ニーズに応じた派遣が実施できる体制が求められます。

<夜間緊急通訳のニーズ>

役所が閉庁となる、平日夜間、土日祝日に急病などの場合、守衛室の電話対応や、設置通訳者個人の携帯端末で派遣対応をすることがいまだに残っていますが、派遣に至るロスタイムや通訳者の健康被害のリスクがあるため、閉庁時間帯は当センターを窓口として速やかに対応する機動力が必要です。

<119メール110メールとの連携>

119通報は市の消防局から、市町村の広域連携による共同指令室としての運用に改変されましたが、消防の広域化の一方で、市単独での派遣事業との不整合がネックとなっています。緊急通報は聴覚障害者の在住地で起こるとは限りません。いつどこから通報が入っても、緊急事態に

最速で通訳派遣対応するためにも、当センターの窓口は常に有効に機能します。

<専門的通訳のニーズ>

専門性の高い通訳は県の役割となっており、市独自の派遣事業があっても、各専門分野に特化した通訳を担保するためには当センターと市との連携が必要となります。

当センターでは県下200名以上の登録通訳者を包括しています。緊急時の派遣は千葉聴覚障害者センターへというワンストップのシステムが実現すれば、災害や緊急時における派遣の手配がスムーズにできます。

さらに、市町村では担保できない専門性に特化した通訳派遣も可能となり行政区域や圏域を超えた広域派遣のニーズはますます高まっています。

当センターは、平日は9時から21時まで、土日祝日は9時から18時まで365日年中無休で稼働しています。東京オリンピック・パラリンピックを目途に、県と市の派遣ネットワークにより情報アクセシビリティの実現に向けた体制が整うよう尽力しています。



**遠く離れた駅で倒れた！
通訳が必要！！
間に合わない…**

映像制作

千葉聴覚障害者センターでは、映像制作に力を入れています。センターが行うイベントの数々を毎年1枚のDVD「房総アラカルト」にまとめて販売しています。他にも、様々なDVDを販売し、「目で聴くテレビ」に毎年番組を提供しています。

本年度、大阪で行われた「全国ろうあ者演劇祭典」では、実際に起きた事故を基に再現映像を当センターで制作、千葉ろう者劇団九十九が



映像と演技を融合させた舞台「ある駅での出来事」

(上写真)を演じ、在住地から離れた場所で起きた緊急時派遣の問題について問いかけました。今年度は10月福島県郡山市・12月千葉市で上演が予定されています。

らいおん工房カレンダー 2019

9月販売開始!

『動物』をテーマに個性あふれるカレンダー
2019 を制作しました。皆さまに「笑顔」「元
気」「安らぎ」を感じていただきたく、らいお
ん工房の仲間が心を込めて描いた絵や折り紙・
粘土細工の数々をデザインしたカレンダーで
す。是非、お買い求めください♪。

お問合せ：らいおん工房（就労継続支援B型）
TEL/FAX 043-224-2844



季節のイメージ
に合わせて制作
に取り組む「らい
おん工房」の
利用者さん



新刊紹介： 手話入門の本&DVD

撮影協力：千葉聴覚障害者センター



県内のろう者がモデルとし
て参加しました。
シーン別会話・単語集では
生きた手話をDVD（映像）
で学べます。

発行：一般財団法人
全日本ろうあ連盟
体裁：A5判 192頁
DVD 付き約60分
価格：1,800円＋税

第1章 手話の基礎知識

第2章 シーン別会話・単語集

①あいさつ ②自己紹介 ③家族
④趣味 ⑤料理・買い物 ⑥病院
⑦交通 ⑧学校 ⑨仕事 ⑩天気・
自然

第3章 単語・資料集

《問合わせ先》 千葉聴覚障害者センター
〒260-0022 千葉市中央区神明町 204-12
TEL 043-308-6373 FAX 043-308-6400
<http://www.chibadeaf.or.jp/>

難聴者&中途失聴者情報

第19回千葉県中途失聴者・難聴者の集い

日時 平成30年9月29日（土）～30日（日）

会場 館山シーサイドホテル

●日時・内容

◇29日：受付15時～、懇親会18時半

◇30日：受付10時～、

10時半～12時 講演「館山あれこれ」

講師 館山市立博物館元館長

主任学芸員 岡田 晃司氏

13時半～15時 筆談サロン

●参加費 1,000円

聞こえに関する講演会

～ 補聴器と人工内耳 ～

●日時 平成30年11月3日（土祝）13時～16時半

●会場 成田市 赤坂ふれあいセンター

アネックスB棟 2階 大会議室※入場無料

講師 埼玉医科大学病院

耳鼻咽喉科 教授 池園 哲郎 先生

言語聴覚士 坂本 圭 先生

※交通案内：JR 成田駅「西口」より千葉交通バス

吾妻線成田湯川駅行 ボンベルタ前下車

主催：特定非営利活動法人千葉県中途失聴者・難聴者協会 問い合わせ：TEL/FAX 047（432）8039

専門性の高い通訳養成

初年度・4分野5コース

-司法・高度医療・ろう重複・読取り-

専門分野における手話通訳のニーズが拡大する一方で、その養成システムが課題になっていました。

総合支援法においては「専門性の高い意思疎通支援者」の派遣は都道府県が担うものとしてその役割を明確に位置付けられているものの、養成システムがないために、今までは通訳者個人の自助努力に依拠する形で、対応せざるを得ない状況にありました。

しかし、聴覚障害者の専門分野への参加拡大に伴い、手話通訳者養成のニーズも急速に高まり、本腰を入れた専門養成が喫緊の課題でもありました。

県にも働きかけを続けた結果、ようやく今年度から予算化が実現し「専門性の高い通訳養成事業」に着手することになりました。

初年度は、司法、高度医療、ろう重複障害、読取通訳の各分野における養成研修を実施、今後段階的に、上記以外の専門性に特化した養成研修も加えていく構想です。また本養成とともに、専門分野の指導を担う「専門通訳指導講師育成」も並行して実施することとなりました。

近い将来には、当該研修の受講修了者を対象に専門通訳者登録試験を実施。専門登録手話通訳者派遣事業（仮称）を創設する予定です。そして養成において一定の実績を経たのち、それぞれの認定試験を実施し、現行の手話通訳者派遣事業に加えて、専門性の高い通訳派遣を事業化する予定です。

お知らせ

2018(平成30年度)

手話通訳者全国統一試験

試験日： 2018(平成30)年12月1日(土)

申込期間：2018(平成30)年

8月25日(土)～10月5日(金)

試験会場：千葉県立千葉聾学校

(住所…千葉市緑区鎌取町65-1)

受験資格：手話通訳者養成課程修了者

平成30年度

手話奉仕員実技指導講師養成講座

実施期間：平成30年10月～

平成31年2月(土曜又は日曜)

全24コマ

会場：千葉聴覚障害者センター または
千葉市中央コミュニティセンター

定員：ろう者10名、健聴者10名

募集期間：平成30年9月10日(月)～

平成30年10月12日(金)

※日程は、センターホームページをご覧ください

平成30年度パソコン要約筆記者 専門研修<連係>

当県では、法廷通訳や専門研修等、専門用語が多用される場面での通訳を主眼として二人が同時に入力をする「連係入力」ができる人材育成に昨年度から取り組んでいます。今年度は、正式に県委託事業として16時間の研修を秋から実施します。

《問い合わせ先》千葉聴覚障害者センター
〒260-0022 千葉市中央区神明町204-12
TEL:043-308-6373/FAX:043-308-6400

新5ヶ年計画の冊子制作



当協会の5ヶ年計画(平成22～26年度)に続く新5ヶ年計画の冊子『千葉県における「らいおんコミュニティ」の長期計画』を作成しました。